

フロムジャパン

日本文化で、世界に貢献

Newsdesk: 01843 227777 www.kentonline.co.uk
 HAVE YOUR SAY ON OUR WEBSITE - KENTONLINE.CO.UK

Japanese visitors delight pupils



Keira Shepherd is shown how to write in Japanese by Nana



Moe Matsubara, Miki Machiyama, Mizuki Obunai, Rina Nasu and Kahorio Wada

Picture: Gary Browne

A taste of eastern culture provided exotic and eye-opening lessons for youngsters at Newington Community Primary School. Eight Japanese university students were warmly welcomed by children for Kent Japan Weeks initiative, a cultural sharing programme. This was run in partnership with Thames Fairtrade Initiative to celebrate World Food Day on October 16 2013 and 400 years of UK-Japan exchange.

Lessons for two days of the visit included origami for years 3 and 4, Japanese writing and calligraphy for years 5 and 6 and Karuta, a traditional Japanese card game for years 3 to 6. Pupils learnt how to create their own version of Karuta cards for a game with similarities to snap, which celebrates community. The visitors were staying with host families through Churchhill House English school

Ramsgate. Head teacher Cliff Stokes said: "They were terrific ambassadors for their country and really eager to share their culture. "The children embraced it and loved it, it is a culture we know so little about generally here. "There was great enthusiasm in school from both the children and teachers and such a visit is something we will definitely encourage and do again.

2014/4/7

Next Messenger Digital Newspapers - East Kent Mercury - 20 Mar 2014 - Page 402

20 Thursday, 3 March 2014 10:00 AM

www.kentonline.co.uk

20 14/03/14 07:24 22800



Bella Williams and Emma Weatherall with origami hat designs



Magpie class with members of the Japan Institute visiting the school



Silvana Perucca, seven, with Saki Hibya



Emma Ought, seven, with Chuki Kadota

Japanese made easy as students lend hand

Pupils and teachers at Cartwright and Robey CE Primary School enjoyed a cultural year from Japanese university students. A group of students from Tokyo University visited the school over two days as part of a celebration of all things Japanese. They were given the opportunity to talk to the students and find out about Japanese culture. As part of the visit, they learnt the

traditional skill of origami, including making origami-dogs which were then allowed to take home. They also learnt how to make their own hats using Japanese newspapers. They learnt to write their own names in Japanese as well as learning how to say hello, goodbye and thank you. The Year 2 class were also delighted when one of the students, Saki Hibuya, gave them some items and let the

children hold her beautiful fan. Amy Taylor, school publicity officer, said: "It was lovely to see how excitedly the children told their parents about all the things they had done - with some greeting their parents with the words they had learned." The school has thanked Mitsu Kagawa, Co-director of the Japan Institute in Tokyo, for organising the successful visit.



フロムジャパン

188-0014 東京都西東京市芝久保町 3-4-45

http://www.fromjapan21.com

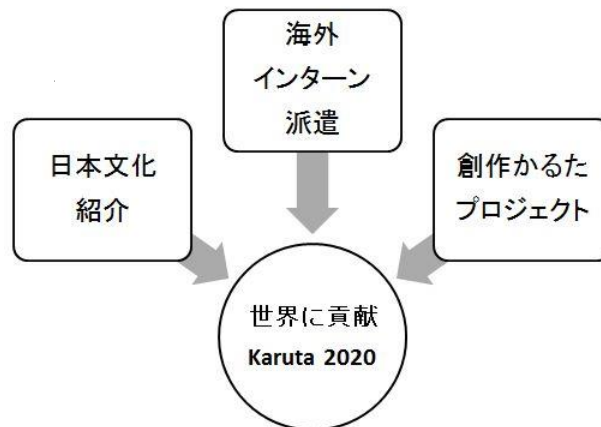
■ フロムジャパン：「日本ならではの」国際貢献をめざして

フロムジャパンは「日本文化で世界に貢献」をテーマに、世界各地の教育機関や市民団体等と連携し日本文化を紹介している、国際研修機関です。

イギリスやオーストラリアで日本文化を紹介する「海外インターンシップ」、かるたを創り世界に広める「創作かるたプロジェクト」を推進しています。

2020年東京五輪に向け、かるたで文化オリンピックを応援する「世界200ヶ国交流かるた創作プロジェクト」（Karuta2020）に取り組んでいます。

こうした活動を通じ、日本文化を世界に発信できる国際人の育成と、「日本ならではの」国際貢献を目指しています。



■ 海外インターンシップ x 2020年東京オリンピック

■ 日本文化の紹介+かるた創り

- ・ フロムジャパンでは、日本各地の学生や社会人を海外の学校や地域に派遣し、日本文化を紹介する海外インターンシップを実施しています。
- ・ 単に日本文化を紹介するだけでなく、かるた創りを進めながら、現地の教育やまちづくりを応援する活動が特徴です。
- ・ 活動を通じ、日本文化の魅力を再発見するとともに、人間力・コミュニケーション力向上を目指す、海外体験学習プログラムです。

■ イギリス・オーストラリア、そして世界で

- ・ 全国から集まった参加者がチームを組んで、イギリスで活動する「コミュニティインターン」、オーストラリアの学校等で、単独（又はペア）で活動する「教育交流インターン」を実施しています。
- ・ 今後、アメリカやニュージーランド等、派遣国を世界に広げる予定です。

■ 参加者から高く評価

- ・ 2010年開始以降、大学生を中心に、170名を越える方々が参加されています。修了時のアンケート結果で、98%の参加者から「参加して良かった」と高く評価されています。

■ 2020年オリンピックを目指して

- ・ Karuta2020プロジェクトの一環として、現地の子ども達と一緒に、世界各国の魅力を学び、かるたにする活動に取り組んでいます。
- ・ 帰国後も、継続してプロジェクトに参加することで、海外での経験を活かすことができます。



■創作かるたプロジェクト：インターンの活躍の場を広げ、世界に貢献

■かるた文化を世界に発信

- ・かるたは子供の昔遊びとみなされがちですが、毎年日本各地で新しいかるたが創られ、かるた大会が開かれるなど、かるたは現役の日本文化です。
- ・「オリジナルのかるたを創り、楽しく学び交流する」日本のかるた文化を、読句を外国語に変更することで、国際的に広める取り組みが、「創作かるたプロジェクト」です。

■かるた創りをコーディネート

- ・プロジェクトの中心は、インターンが学校等でかるた創りをコーディネートする仕事です。
- ・まず、かるたで扱うテーマについて調べ、題材を子ども達に解説します。その後、題材を割振り分担して、絵と句の創作を指導します。札を完成させた後、仕上げにかるた大会を開催する、合計5-6時間の活動です。
- ・完成したかるたが活動の成果として、帰国後にアピールできるのが、魅力です。

■多様なかるたづくりを推進

- ・創作かるた活動は2011年に英国で始まり、2015年にオーストラリアでも開始されました。
- ・これまで「郷土教育」「国際理解」「英国史」「フェアトレード」等、多様なテーマのかるたを完成させ、地域かるた大会も3回開催しています。
- ・今後、学校以外のNPOや企業とも連携し、各組織のニーズに合った多様なかるた創りを進めることで、かるたと日本人（インターン）が活躍する機会を広げ、世界に貢献することを目指しています。



■かるたでつなぐ、日本と世界：Karuta 2020

■Karuta 2020 とは

- ・2020年に向け、東京五輪参加国が学べる「世界20ヶ国かるた」を創作し、記念の国際かるた大会を開催する企画が、Karuta2020です。

■グローバルな創作活動

- ・創作にあたり、日本を始め、参加予定の国・地域に作品（絵や句）応募を呼びかけ、地球規模の市民文化交流活動をつくり出します。
- ・公募に加え、海外インターン派遣や国内での創作かるた講座を実施し、創作活動を支援します。

■スポーツ・文化・教育を組み合わせた、活動

- ・オリンピックはメダルの数を競うだけではなく、「スポーツを文化や教育と融合させる」プログラムの実施が義務付けられています。
- ・実は、かるた創りはこの3つを組み合わせた活動です。絵や文という「文化」作品でかるたを創り、子どもの「教育」、かるた大会等「スポーツ」に活用する、オリンピックにぴったりの活動です。

■かるたを、東京オリンピックのレガシーに

- ・このユニークな日本のかるた文化を、オリンピックをきっかけに世界に発信する、そして完成した「かるた」が、2020年以降もオリンピック教育のツールとして世界で活用され、東京オリンピックのレガシー（遺産）とするのが、目標です。



日本（上）と豪州（下）を題材にしたかるたの実例

fromjapan

■設立：2009年7月

■概要

- ・fromjapanは、海外インターン派遣を通じ、「日本文化紹介」「創作かるたプロジェクト」を推進している、国際研修機関です。
- ・日本文化を発信できる国際人の育成、「日本人ならではの国際貢献を目指して、活動しています。

■住所・連絡先

〒188-0014 東京都西東京市芝久保町 3-4-45

TEL042-439-5445

Email: info@fromjapan21.com

URL <http://www.fromjapan21.com>

■国内連携組織

NPO 法人日本郷土かるた協会
すぎなみ Karuta プロジェクト

■海外連携組織

海外の小中高校、英語学校、フェアトレード団体

沿革

■2009年

7月 fromjapan設立

■2010年

4-5月 英国インターン派遣開始

■2011年

2月 英国の小学校で、創作かるた講座開始

10月 日本社会科教育学会にて発表（北海道）：

■2012年

5月 大和日英基金の助成決定

■2013年

2月 英国初の郷土かるた「マイサネット」印刷

3月 第1回地域かるた大会（英国）

5-6月 「マイサネット」郷土かるた展（東京）

■2014年

3月 フェアトレードかるた展示会&かるた大会

■2015年

1月 日米姉妹都市かるた創作講座（つくば市）

2月 オーストラリア・インターン派遣開始

3月 フェアトレードかるた大会開催（英国）

4月 日本語教師会で創作かるた講座（豪州）

■2016年

1月 第1回かるた文化祭を開催（東京）

10月 ネパールかるた創作講座（東京）

11月 米国初の創作かるた講座（ミルピタス）

■2017年

1月 第2回かるた文化祭を開催（東京）

3月 ロンドン初のかるた大会開催

4月 第1回創作かるた賞受賞かるたの完成・印刷

代表者



■氏名：景谷峰雄

■略歴：

- ・京都大学大学院修士課程修了
- ・海外インターン派遣業務 25年
- ・2011年&2013年「NPO 総合マネジメント講座」講師
- ・創作かるた講座講師（つくば市・東洋大学他多数）
- ・日本郷土かるた協会会員
- ・国際理解教育学会会員

応援・期待の声

■ティム・ヒッチングス元駐日英国大使

「駐日英国大使館は、fromjapanの取り組みをサポートしたいと考えており、こうしたクリエイティブな文化交流事業が、日英間で更に促進されることを願っています。」

2013年7月英国大使館ニュース『英国の子供達が描いた絵が日本のかかるたに』より



■山口 幸男氏

（群馬大学名誉教授

NPO 法人日本郷土かるた協会理事長）



「郷土かるたの国際化を積極的に推進しているのが「fromjapan」..です。数年間にわたる入念な下準備を経て、イギリスのケント州サネット地区において、「サネットかるた」（「My Thanet' Karuta」）の制作を支援し、2013年3月、現地の小学生らとともに「サネットかるた競技大会」を開催して大成功を収めました。

これは、外国において外国人によって制作された本格的な外国の郷土かるたの世界第1号といえるものです。郷土かるたの国際化の一大エポックとして、郷土かるたの歴史の中で大書される出来事といってよいでしょう。fromjapanの郷土かるた活動は、郷土かるたの国際化の先導的活動として高く評価でき、今後の展開に大きな期待が寄せられるものといえます。」（2013年6月）

■大和日英基金：

マイサネットかるたプロジェクトは、大和日英基金の助成を受けています

